



活躍が期待される「ひまわりバス」



影岡 俊範 議員

# 農業を大切に作る社会の構築のための政策は

## 農業振興のため農地集積を通じ・担い手確保・育成・所得向上を支援

### 問

- ① 農地集積・集約化の進展度は。
- ② 後継者の育成についての実績は。
- ③ 壮年パワーの農業振興への受け皿は。
- ④ 所得確保の支援は。

#### 産業建設部長

- ① 集積率推移は平成25年度41・5%から27年度46・3%になっており、32年次の目標53・1%へ向けて着実に進展している。
- ② これまでの合計実績は認定新規就農者5名、農業者個人が73名、法人が12社だ。今年度中に若手農業者検討会議を3回実施したい。
- ③ 意欲ある農業者には、就農や規模拡大などの支援制度を国や県で用意。提案や活動についての相談は、町が実施。④ 農業再生協議会で、以下のように設定。
  - ・ 支援作物に7品目の野菜と花卉
  - ・ 米の生産目標達成者、麦から米への転作者、麦の裏作生産者を支援金交付者に。

## 町内ネットワーク・町民の足としてのバス路線の拡充は

### 地域になくなくてはならない公共機関として運行を継続

### 問

- ① 住民の足としてのコミュニティバス（ひまわりバス）の現状と今後の拡充計画は。
- ② 松前駅のバリアフリー化は。

#### 町民課長

- ① コミュニティバスに移行し8年。高齢者や障がい者にはなくてはならない交通手段として定着している。さらなる充実には、路線の延長、便数の追加が考えられるが、二台
- ② 駅舎の改修と合わせて伊予鉄にバリアフリー化を要望。